



分野、こえてみます

— 「DIGITAL BIOSPHERE」未来共創チーム 座談会 —

今回の研究井戸端トーク（番外編）は、JSTムーンショット ミレニア・プログラムのチームのひとつに選ばれた、「DIGITAL BIOSPHERE」未来共創チームの対話を座談会形式でおおくりします。化学の研究者と文化人類学の研究者、大学発ゲノム編集ベンチャーのCEOを迎え、さらに宇宙倫理学にも取り組む応用倫理学の研究者をお招きします。このチームでは、広島大学にも強みのあるゲノム編集と宇宙、そしてデータストレージや次世代通信の交差点に着眼しつつ、すべての生物情報がデジタル化され、データで表現できる世界「DIGITAL BIOSPHERE」をコンセプトに2050年の社会像を描き、半年間の調査・構想に取り組んでいます。今年1月に分野をこえて手探りでスタートしたチームのあれこれや、バイオや宇宙に関する研究開発と人社系からのまなざし、分野横断・融合の経験や展望、社会の未来像などなど、ざっくばらんにおしゃべりします。2050年の社会像や本調査について、参加者からの質問・コメント大歓迎です。お気軽にご参加ください。

2021.3.29. 17:00-18:00 (Zoom)

ゲストからの話題提供+参加者も含む自由なトーク
主な対象：研究者、大学院生（どんな分野からも歓迎）
事前登録は URLかQR codeから：<https://bit.ly/3pCQp2T>



西原 禎文 教授（話題提供）

専門：化学（固体物性化学）

生体機能を化学的に模倣し、新しいタイプの分子エレクトロニクスデバイス創出を目指して研究。世界で初めて「単分子誘電体」の開発に成功し、次世代密度ストレージにより超ビッグデータから生まれる革新的なコンピューティング技術の創出を目指す。2019～JSTさきがけ研究員。「DIGITAL BIOSPHERE」未来共創チームリーダー。



中空 萌 講師（話題提供）

専門：文化人類学、科学技術社会論

主なフィールドはインド。科学技術実践を民族誌的記述の対象とする「科学の人類学」分野の研究を行う。主著『知的所有権の人類学：現代インドの生物資源をめぐる科学と在来知』（2019 世界思想社）で澁澤民族学振興基金の澁澤賞受賞（2020）。「DIGITAL BIOSPHERE」未来共創チームメンバー。



奥原 啓輔 氏（司会）

プラチナバイオ代表取締役

科学技術振興機構（JST）、内閣官房知的財産戦略推進事務局、東広島市を経て広島大学。JST-OPERA「ゲノム編集」産学共創コンソーシアムを構築・運営。文科省EDGE、JST 社会還元加速プログラム（SCORE）により起業家となりプラチナバイオ社創業。「DIGITAL BIOSPHERE」未来共創チーム副リーダー。



岡本 慎平 助教（話題提供）

専門：応用倫理学

19世紀の哲学者ジョン・スチュアート・ミルの思想を手がかりに、ロボット工学、宇宙、eスポーツなどに関する倫理学に取り組む。『宇宙倫理学』（2018 昭和堂）では、「第8章 惑星改造の許容可能性—火星のテラフォーミングを推進すべきか」を執筆。広島大学応用倫理学プロジェクト研究センターにも所属。

JST ムーンショット型研究開発事業 ミレニア・プログラム

新たなムーンショット目標の検討を進めるため、今後の時代を担う若手の柔軟かつ自由なアイデアを取り入れながら、「ポスト／アフターコロナ」を見据えた将来の社会経済のあるべき姿（ビジョン）を議論する目標検討チームを公募した事業。
広島大学メンバーを中心とした提案：「真に新しい物理」が拓くバイオ産業のゲームチェンジが採択。

企画：広島大学学術・社会連携室URA部門
協力：広島リサーチコンプレックス推進協議会
お問合せはこちら：ura@office.hiroshima-u.ac.jp